

## 1 学校基本情報

種別	肢体不自由	学部・学科	小学部・中学部・高等部	児童生徒数	(男)141 (女)95	計 236
ホームページ	http://www.koshigaya-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	東武スカイツリーライン せんげん台駅 徒歩約 25 分 茨急バス「せんげん台駅～老人福祉センター行き」大杉橋バス停下車徒歩約 10 分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登校は9:00、下校は15:20を基本とし、二期制を実施しています。</li> <li>・心身の障害に応じて、4つの基本的な教育課程を編成し、学習グループによる学習活動を展開しています。</li> <li>・児童生徒の摂食機能に応じ、形態別調理による給食を提供しています。</li> <li>・医療的ケアを看護教員及び研修を受けて認定された教員により実施しています。</li> <li>・自立と社会参加できる実践力を身につけることを目的に、寄宿舎を設置しています。</li> </ul>					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア発達を促すため、社会で生きていくために必要な力の育成を目指し、社会体験学習では、近隣の公共施設・交通機関、商業施設等で様々な体験活動を行っています。</li> <li>・各発達段階に応じたねらいを設定した宿泊学習も行っています。校内宿泊学習(小5、中2)、校外宿泊学習(高2)の基礎学習の経験を活かし、各学部最高学年では修学旅行を実施しています。</li> <li>・余暇活動の充実を目的に中学部、高等部では、希望者による課外活動、部活動を行っています。運動部は、陸上、ボッチャ、サッカー、ローリングバレーボールの大会にも参加しています。文化部は、室内ゲームや音楽活動、創作活動に取り組んでいます。</li> <li>・寄宿舎とPTAが共催する、寄宿舎のお祭(若竹祭)を開催しています。</li> </ul>					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般向け学校公開を年間10回開催いたします。</li> <li>・関係機関向け学校公開(医療関係者、福祉関係者)を年2回開催いたします。</li> <li>・各学部単位で近隣の小中高校と交流及び共同学習を行います。</li> </ul>					
進路について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア教育」として、社会で生きていくために必要な力の育成目指し、教育活動全般を通して実践しています。</li> <li>・地域社会の一員として、将来を見据えた支援を行います。</li> <li>・児童生徒及び保護者が、主体的に進路決定できるよう情報提供、相談活動を充実させます。</li> <li>・外部関係機関、施設・事業所、企業等と連携してそれぞれの自己実現を支援します。</li> </ul>					

( 児童生徒数 : H30.5.1 現在 )

## 本校の魅力！

児童生徒一人一人の障害の状況に応じた、きめ細かな指導を充実させます。

- ・卒業後の進路を見据えて、企業や施設等で産業現場等における実習を行います。
- ・「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」を作成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに合った指導を行います。

## (授業風景)



&lt;教職員から&gt;

頑張る児童生徒の可能性を引き出します

## (学校行事)越養祭



&lt;高等部生徒会長から&gt;

みんなが仲良く、明るく楽しい学校です。先生方もとても優しく丁寧です。



# 県立越谷特別支援学校

## ～ 児童生徒の成長物語 ～

### 【教育目標】

皆と共に 心豊かに たくましく

### 【目指す学校像】

自立する力を育て、一人一人の児童生徒を伸ばし、  
保護者や地域の期待に応える学校

### 重点目標

キャリア教育と自立活動双方の観点を踏まえて、教育支援プラン及び指導計画等を見直し、授業の充実を目指す。  
保護者・地域への情報発信とセンター的機能を充実させ、開かれた学校づくりを行う。  
教育力を高める教育環境作りに向けて、児童生徒が健康で安全に学べる環境整備を行う。

### 教育形態

学校— 通学（学校）……一般学級  
          重複学級  
          訪問（家庭・施設）…訪問学級

小学部  
自立と社会参加に向けての  
基礎・基本の力をそだてる

中学部  
自立と社会参加に向けての  
基礎・基本の力をひろげる

### 学校経営方針

- ア 特別支援教育の専門性の継承と更なる向上
- イ 特別支援教育のセンター的機能の発揮と開かれた学校づくり
- ウ 施設・設備・物品等の適正な管理と有効活用
- エ （自立と社会参加に目指した）授業の充実
- オ 安心・安全・信頼を柱とする学校の基盤強化

### 4つの教育課程

- 類型 — 当該学年の教科学習を中心とするグループ
- 類型 — 前下学年の教科学習を中心とするグループ
- 類型 — 体験を重視した生活学習を中心とするグループ
- 類型 — 自立活動を中心とするグループ

### 一人一人に応じた指導

個別的教育支援プラン  
自立活動の指導

実態に応じた  
形態別調理の  
様子



高等部  
自立と社会参加に向けて  
必要な実践力をのばす

卒業後進路  
進学、就労、通所、入所

### 地域との連携

支援籍学習（小学部・中学部）  
地域支援  
教育相談  
ボランティア養成講座開催  
公開講座開催

支援籍学習  
の様子



### 医療的ケア

学校管理下（登下校時は除く）において、看護教員及び研修を受けて任命された教員が連携協力して実施します。

- ・経管栄養（栄養、水分、薬）
- ・吸入（口鼻腔、気管カニューレ内部）
- ・吸引
- ・介助導尿
- ・酸素療法

### 寄宿舎

家庭、学校での生活を手がかりに、第三の生活の場として自立と社会参加できる実践力を身につけます。



平成30年度の取組

